

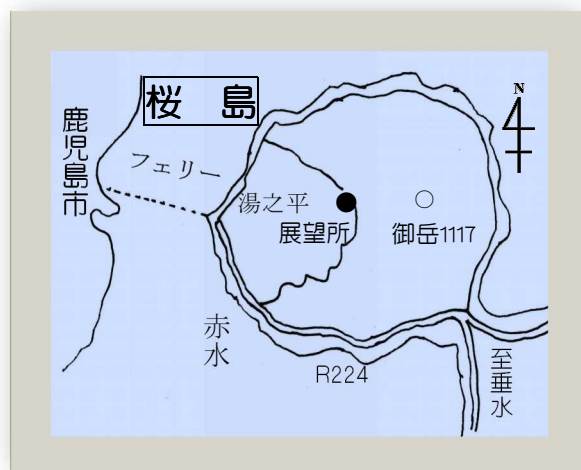
桜島 1117m ^{たかくまやま}・高隈山 1236m とともに 300 名山

高隈山は大隅半島北西部の最高峰 2017 年 9 月 25 日(水)薄曇り

桜島 (R = 国道、r = 県道です)

桜島フェリーで桜島 (15 分) へ渡り、R 224 で 3Km 先に赤水バス停がある。左折して北上し 6 Km 登ると湯之平展望所がある。ここから見る左が最高峰の北岳 (1117m) で右が南岳。5000 年前に北岳ができ、4500 年前に南岳ができた。南岳は今でも噴煙を上げている。時々、桜島が噴火したとのニュースはこの南岳です。

一般者が行けるのは 373m の湯之平展望所までです。



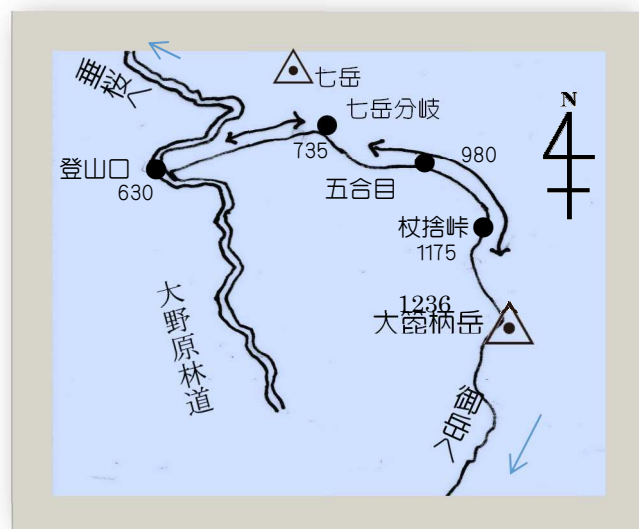
高隈山

<アクセス>

桜島の R 224 から右折して R 220 に入り 9 Km の垂水港付近から左折して r 71 を走り、10 km 先を右折して垂桜集落へ。県道 (r 71) から 6 Km 先に大筈柄岳登山口がある。

<コース> 実歩行 2 時間 55 分

大筈柄岳登山口 (12:47) → 七岳分岐 (13:09) → 3 合目 {13:20} → 7 合目 (14:09) → 杖捨峠 (14:25) → 大筈柄岳 (14:52 ~ 15:00) → 大筈柄岳登山口 (15:50)



垂桜集落から簡易舗装道と砂利道を走る。車高の低いマイカーは車体が凹める心配があるので慎重に運転する。

登山口からいきなり急登で、針葉樹林帯の中、展望はない。天気予報は夕方から雨で、先を急ぐ。七岳分岐を過ぎて少し進むと、やっと左側に展望が開け、端正な七岳が見える。3 合目の標識は見たが 5 合目は見逃す。さらに進むといきなり



船上から桜島

8合目の杖捨て峠に着く。小さな祠がある。安全に登れることを祈願する。このコースは登りの連続で、下りはほとんどなく厳しい。途中から霧が出てきたこともあり、周囲はあまり望めない。

大笹柄岳山頂はやはり霧のため展望はない。晴れていれば霧島連山、開聞岳、大隅半島、桜島と一望できるのだが残念である。

帰りは往路を戻る。明日は尾鈴山に登る予定



湯之平展望所



展望所内で火山の説明



右折して垂桜集落へ



大笹柄岳登山口



七岳が見えます



杖捨峠



こんな登山道もあります



大笹柄岳 山頂・霧で遠望できず

※くちょっと寄り道> 桜島フェリー内「やぶ金」のうどん

乗船時間 15 分間で食べるレトロなうどん、懐かしい感じがします。

(料金 400 円～)